

# FLORE21 ホットニュース

## 会長 小池潔のあれこれコラム

### 「フローレ 21 の苦しさとの日本の間違い」

年を越した1月から花の価格が高止まり状況です。もちろん生産者は肥料や重油に電気代の高騰から、輸送費など多くのものが値上がっています。

我々は高くなった花を売るのでからこれまた大変なことです。フローレ 21 の売り上げは何とか増えていますが、利益を大きく減らしています。

利益を落とす要因はいくつかあります。「仕入れ値に対しての値入が弱いこと」「仕入れ過多になり、花を残すこと」大きくはこれらのことが原因だと思われる。

それぞれの社員が仕入れの力をつけること、花の質、花の量、さらに売れ筋を逃さない、それぞれの仕入れ力を成長させることも大切です。

消費者物価（生鮮食品を除く）も大きく上昇しています。特に電気代、都市ガス代が20%以上、食用油39% 食パン15%などなど、30年11ヵ月ぶりの水準だという。

この物価上昇は当分続くようです。

これに大きく関係している外国為替市場での円安が進んだことです。そして輸入物価の高騰に拍車をかけています。当時アベノミクスと言われた経済政策は大失敗、日本人の対外購買力は低下、国民生活にも大きく影響しています。

私たちの回りで起きている出来事に政治が大きな影響を与えている。

## OFLOの部屋

先日、大田店ではおなじみのコスモス生産者『東花園』の小島さんのところへ行ってきました。

ここ数年コロナでまともに産地さんには、行けていなかったのですが、こころよく迎えてくれました。

毎年大田店で販売をさせて頂いている東花園さんの『コスモス』セリ前には、既に完売となる人気の商品です。

品種自体は、『ピコティ』『ベルサイユ』『ダブルクリック』の3種類、シーズン後半には、『オレンジキャンパス』『イエローキャンパス』の2種のみです。

今出荷している『ピコティ』『ベルサイユ』『ダブルクリック』もほぼこの写真の面積のみです。

今回行った日は、雨模様で、朝切った後だったので、蕾のコスモスがたくさんありました。

東花園さんのコスモスの魅力は、露地栽培ゆえのステムの硬さと、花の選別の厳しさです。

コスモスは露地栽培だと、ハウス栽培に比べステムがしっかりします。



小島さんもハウスだと花首が柔らかくなり首が下を向きやすくなるのが嫌だそうで、露地栽培1本で頑張ってくれています。

露地ゆえに天候に左右されやすくゲリラ豪雨や、台風等が来たあとは雨や風で花が傷んでしまったり花が倒れてしまったり毎年自然との闘いです。

小島さんも『大田市場に出荷する荷物は、完璧でなきゃいけないし、今まで大田市場で出してきたコスモスのブランドを落とすわけにはいかないよ。』と言ってられています。

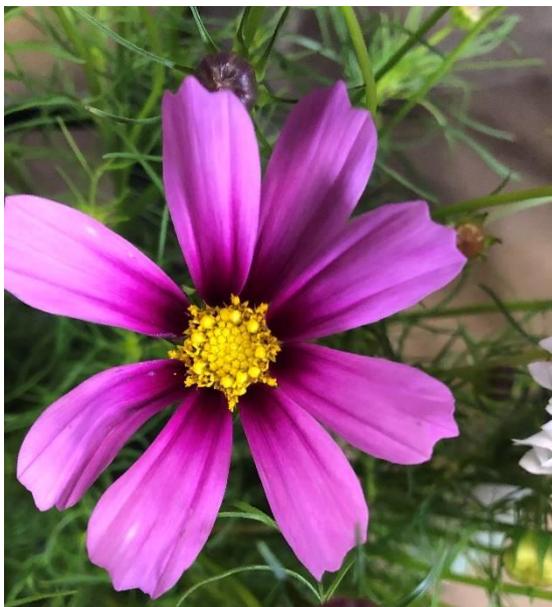
私自身はもう小島さんのコスモスを  
売って10年以上…。15年位になるかな？

絶対的信頼を東花園さんにはおいて  
います。

切ったばかりの花を見せて頂きました

右の写真がほぼ『合格』  
大田市場行きベルサイユです。

花弁が揃っていなかったり重なって  
いなかったりしているものは、はじ  
かれてしまいます。



左のようにうまく重なっていないものや、花  
弁が飛んでしまっているものはすべて出荷  
されず、捨ててしまったり、県内の市場へと  
出荷されます。

この写真位ならと思ってしまいそうですが、  
東京の市場にはこのような状態のものは出  
荷できないそうです。



そこまで厳しい選別で出荷されるのだから、  
お客様に安心して買っていただきセリ前に  
完売するのも納得です。



最後に小島さんご夫婦、今年から加わった息子さん。

コスモスを通じて長いお付き合いをさせて頂いております。

市場に来た際は自分のところに訪ねてくれる小島さん。

『去年も外出された際に市場に寄ってくれましたよね』

『え！鎌田君それコロナ前だからもう3年前だよ！（笑）』  
と小島さんに言われてしまいました。

月日が経つのが早いですね。

『小島さん、これからもよろしくお願ひいたします！』

大田店で好評販売中です！10月に入ればキャンパス系も出てくると思います。  
今年も叶いませんでしたが、ぜひ次回のコスモスフェアには小島さんに来ていただきたいです。

皆様も東花園さんのコスモスよろしくお願ひいたします。

大田店 鎌田

## 世田谷店おすすめ

今週のホットニュースを担当させていただきます、世田谷店新入社員の清水です！  
他店舗の皆さんとあまり交流ができないため、紙面を使って簡単な自己紹介をさせていただきます！

担当：店舗販売、種、店舗ブログ  
趣味：イラスト制作、写真撮影  
あとディズニーが大好きです、よろしくお願ひします！



さて、自己紹介はこれくらいにして。

1年も早半年が経過しましたね。天気も周囲の環境も、すっかりと秋色に染まってきています。

フローレ21に就職してからというもの、入荷される切り花や鉢物を通して季節の変わり目を強く感じられるようになりました。(自身の花に対する向き合い方も、入社前と変わってきたということかな…とひっそり考えています^^)

そこで今回は、入社してから携わった思い入れの強い花達を振り返りたいと思います。

### ・4～5月上旬



#### 入社してすぐの大型行事・母の日

今まで私は母の日＝カーネーションだけという認識を持っていましたが、そんな認識はすぐに打ち壊されました。

なぜならフローレ21はカーネーションのみならず、多種多様な『アジサイ』を仕入れていたからです…！

アジサイは梅雨時期のみの花だとばかり思っていたこともあり、春の爽やかな空気の中で大量に入荷されるアジサイを見て、季節を先取りしている気分になりました。

←店に並ぶ色とりどりのアジサイ達

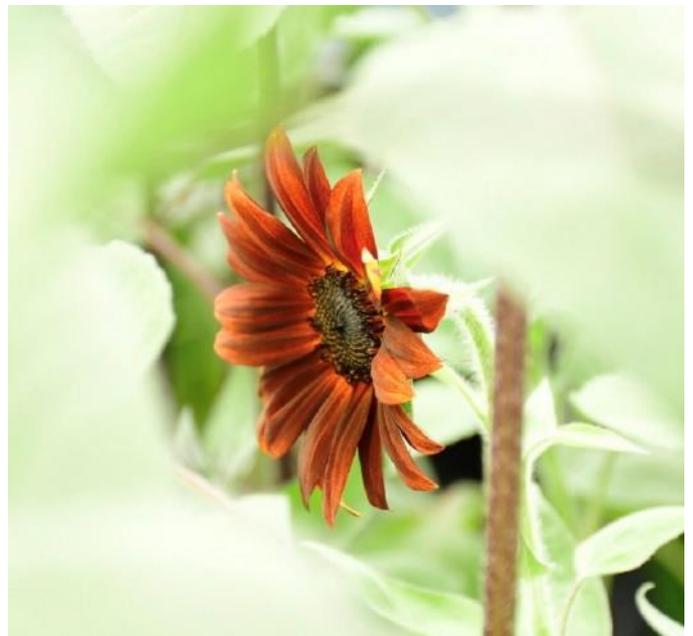
### ・5月下旬～7月

#### 千葉某所・ヒマワリ産地の見学

6月某日、初めて切り花の産地見学に行ってきました！

(実は入社して一週間足らずの時に一度鉢物の産地に同行させて頂いたことがありましたが、入ったばかりで花はおろか鉢物の知識がゼロだったため、着いていくのに必死でした。)

→山田さんハウスで開花していたクラレット



千葉のヤマキさんのハウスと山田さんのハウスへ伺いましたが、初めて見る砂地で栽培されているヒマワリにいたく感動しました。ぜひ機会があれば、また伺いたいです！

### 初めて触れるトルコキキョウ

フェアが開催された7月上旬、トルコキキョウという名前を認知したのはちょうどこの時です。フリルがかった愛らしい花弁と多様に展開される色…この時の店頭はトルコキキョウで溢れかえり、まるで異国の花畑にいるかのようでした。カシスカラーのトルコが特に美しく存在感を放っていました。



↑左：八重・雅 / 右：カシスボール

### 毒々しさ全開・アジアントロピカル



まさに毒、とても言うような配色の花々に囲まれた世田谷店。

アジアントロピカルフェアでは、初めて見る花のオンパレードでした。

特に画像の赤と紫が特徴的な『エクメア レッドベリー』、

これが本当に自然に生える植物なのかと疑いたくなるほどの見た目で、個人的に凄く好きです。

← ↑ エクメアレッドベリーとグズマニア



## • 8月～9月現在

## 食用と観賞用で名の違う花・クルクマ

食用となれば『ウコン』、観賞用となれば『クルクマ』という呼び名に変わる花だなんて、このフェアを開催した時に初めて知りました。



ディスプレイに並ぶクルクマ達、どれもハッキリとした色彩のグラデーションで目の保養となっていたのをよく覚えています。



いつ見ても可愛いですね…！

←サイアムシルクとプルミアムール

## 季節を先取り、秋の草花



花の中でダリアが一番好きなので、このフェアの開催は非常に心待ちにしていました。

見たこともない色のダリアが多数並び、私自身も気に入った品種をお客様が手に取った時のあの心が繋がったような高揚感たるや！

言葉にできない喜びが感じられました。



↑左からダリアの恋金魚、セロシアのローズベリーパフェ、ベルテッセンのローグチ

## いざ来たる、重陽の節句



ついに9月。

秋本番(といっても残暑厳しいものでした)を迎え、世田谷店は重陽の節句に向けて準備を始めていました。

当日は夏季休暇のため立ち会えませんでした。ディスプレイに並ぶ重畳とした菊はとても美しく、来店したお客様もきっと同じような気持ちになっていたと思います。

さて、ここまで振り返りながら思い出を書き連ねましたが、どれもこれも楽しくやりがいのある仕事ばかりでした。

特に自分が初めて目にする花が多数入るフェア、これを通して花への知識と見聞が広がり、お客様へ進んでお勧めできるようになるので、とても楽しいです。

これからも花への興味・知識を高めていきながら、お客様ならびにフローレ21に貢献できるよう、精一杯努力してまいります。

紙幅が尽きて参りましたので、今回はここで失礼します。

世田谷店 清水



お花とは全く関係ないことで恐縮ではございますが、最近、大相撲を見るのが好きになった。楽しみの一つと言ってもいい。今は横綱の照ノ富士が怪我から復活し、凄まじい強さで大関、横綱へ駆け上がっていった頃から、俄然と自分の中で楽しくなってきたようだ。TV中継は休みにしか見られないが、仕事帰りの車の中でラジオ中継を聞くことも多い。

今場所は残念ながら横綱照ノ富士は膝の怪我の為10日目から休場となってしまいましたが、もう一人私の応援している北勝富士が3敗で優勝圏内に残っている。(12

日終了時点) 何とかこのまま優勝戦線に残って千秋楽まで行ってほしいものだ。今場所の面白さの一つは、上位陣(大関以上)が総崩れで優勝争いに残っているのは平幕の力士だけという混沌とした状況にあると思う。

横綱、大関が揃ってこれだけ負けてしまう場所は滅多にない。

優勝圏内にいる力士達はあと三日俄然力が入る相撲になるだろうと思うと楽しみで仕方ない。

もう一つ相撲中継が好きになったのは、元横綱北の富士 北の富士勝昭さんの解説によるところが大きい。歯に衣着せぬもの言い、ユーモアたっぷりの解説。

ふがない相撲の力士に対して辛辣な言葉を浴びせたりもしますが、それら全て愛情のある叱咤激励であることは聞いていて感じ取れます。

そして、いい相撲に対してはハッキリと褒めて、称賛している。

北の富士さんのファンが多いのも納得の一言である。

9月のお彼岸 2週連続の3連休と忙しい最中に、相撲の話などと叱られそうではあるが、そこは平にご容赦ください。優勝の行方が気になるあまり、ちょっと書いてみたくなりました。

さて、これからは花の話です。



この一月近く悩まされている品物があります。

パンパスです。

ドライのパンパスが貯まってきていて、数台車に分かれて置いてあります。

これらのパンパスは箱に入れたままだと保存が効かず、台車に立てて、風通しを少しでも良くしておかないといけません。

経験上分かっている、密集した状態に長時間置きたくありません。随分といっぱい入ってきた様に見えますが、これでもまだ需要には足りていない様です。

剥いてある生のパンパスをここで乾かしたものやドライの状態が入ってきた物、様々な品物があります。一応は整理されているのですが、一か月くらい前から出荷と仕入れを続けているので、そろそろ置き場も無くなって来ました。

穂の部分は折れやすく出荷時は気を使います。去年はステムの部分のカビ？を取るのに随分と時間を費やしました。

場所を取らずに、いい状態で保存する方法があれば試してみたいと思っていますのですが・・・



(これは生の剥いてある状態で入荷した品物を葛西店の1階で乾かしている品物です)

ちょっと愚痴っぽくなってしまいました。すみません！



通勤している道路から見えるところに植わっているパンパスです。

穂の先端はおそらく3メートルを超えていると思います。

以前見たときより大きな株になった様に思ったのですが、これでも花穂の茎はそれ程太くなっていませんでした。(今取り置いてある品物はかなり茎が太いです)

